

Part4

平成26年（2014年）度に行われた妊婦さん対象のアンケートから、特にご指摘が多かった2項目に関してのご意見をまとめました。

1. 出産に関する情報について

- ・多胎出産・妊娠についての情報が少ない！！
- ・病院ごとの違いや妊婦に対するサポートについて、自分で調べる以外にももっともっと情報を得たかった。
- ・妊娠初期のつわりでほとんど外出や情報をつめることができなかつたので、インターネット等での調べ方や行政・病院での情報をもっとわかりやすければ良かったなと思いました。
- ・高齢出産にあたる外該年齢の方には、もう少し出生前診断の案内（説明）を事前にいただけると嬉しいです。
- ・分娩ができる医療機関のリストが分かりやすいサイトがあると嬉しい。探すのが大変だった。助産院などの情報も少ない気がします。ミニコミ誌などを駅に置いてもらえると嬉しい。
- ・栄養学がもっと広がればいいと思います。
- ・陣痛促進剤の使用について、国は医療機関にどのように指導しているか、気になっています。ガイドラインがあれば、それを参考にしたい。きちんとした情報をどう入手できるのか気になっています。
- ・情報過多であると感じます。選択肢が多いことが迷いにつながり20年前に出産していた世代がうらやましく感じます。
- ・情報は多くあるが、なかなか自身に取り込めない。
- ・タクシーは呼んですぐ来てくれるのか、対応はどんなものかなど。



2. 公的サポートについて

- ・女性の高学歴化、社会進出の結果、晩婚化の傾向にあると思いますが、健康保険等、社会のサポートや理解ももう少し整うことで妊娠、出産の機会も増えるのではと思います。
- ・少子化問題があるのであれば、やはり子どもを育てやすい、子育てに関する補助（新しい物でなくとも）や社会の循環システムを作った方がよいのではないかと考えます。フランスや欧州（北欧）のように3人以上出産したら税率が安くなるとか、1人より2人、2人より3人育てる人たちが優遇される社会になってほしいです。
- ・出産後のサポートを充実させて欲しい。 保育園に入園しやすくして欲しい。
- ・どこに行っても「親に手伝ってもらえ」と言われますが、里帰りしない私にとっては、その言葉がとてつもなく負担になる。できれば里帰りしない人、手伝ってもらえない人へのアドバイスが欲しい。
- ・赤ちゃんのこと、家のことできるだけちゃんとしたいと思い、うまくできないことを周りにうまく伝えることが上手にできず自分と葛藤してしまいそういうときの対応。

